

家族支援の実践実技講座

昨今、家族や地域における問題解決力の低下が懸念されています。そこで本講座では、家族成員間での問題解決力を高める支援の理論と技術についての学習の機会を提供します。家族の問題解決力を高める支援は、医療、福祉、保健、教育、司法分野など、幅広い分野で不可欠です。

本講座で学ぶ理論と技術は、家族に限らず、小集団に対しても適用可能な理論と技術です。講座の内容は、理論的学習と体験的学習とを組み合わせることで、より実践に生かせるよう構成します。

日 時	<p>①7月7日 ②7月14日 ③7月21日 ④7月28日</p> <p>日曜日 10:00~16:00</p> <p>※台風等で中止となった場合、次のとおり補講を実施します。 ①および② 7月15日(月) ③は7月27日(土) いずれも10:00~16:00</p>
会 場	<p>①・②三原キャンパス 三原市学園町1番1号</p> <p>③・④広島キャンパス 広島市南区宇品東1丁目1番71号</p>
講 師	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 大下由美
対 象	家族臨床に携わっておられる対人支援の専門家
定 員	10名(先着順)
受 講 料	8,200円 (1会場のみ受講の場合は6,200円)
申込締切	令和元年6月18日(火)必着
申込方法	<p>下記のQRコード又は本学ホームページのURL上「申込フォーム」に入力してください。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=354 申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。</p>  <p>また、従来どおり郵送でのお申込みも可能です。 【郵送】公開講座申込書(別紙)をご記入いただき、返信用封筒※を同封のうえ、下記へ送付してください。宛先は、公開講座「家族支援の実践実技講座」係。 ※返信用封筒(長形3号:横120mm×縦235mm)に82円切手貼付。</p>
主催 問合先	<p>県立広島大学 三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電 話:0848-60-1200(平日9:00-12:00/13:00-17:00) メール:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp</p>

内 容	① 家族支援のための基礎理論
	本講座では、家族の問題は、家族構成員間のコミュニケーション過程で構成されると捉える、生成的システムズ理論を学びます。この理論で家族の問題を捉えると、その解決法は、日常のコミュニケーション過程での微細な変化の生成（一つのメッセージを変えること）になります。従来の問題の原因の究明とその除去を目指す方法ではなく、解決探求型の支援の基礎理論を学びます。
	② 家族システムの変容論
	1 回目の基礎理論の復習を行った上で、具体的な問題の評定方法を、家族支援の具体的な事例を取り上げてグループで学修します。問題を探す視点から、解決を探す視点へ切り替え、家族とその背景システムの生成力学を捉える視点を学びます。そして解決を作っていくために専門家が使用する、具体的な質問法を学びます。その後、視聴覚機器のある面接室で受講者によるロールプレイを行います。
	③ 家族システムの変容技術
家族に限らず、クライアントと関係する人々含む対人関係をシステムで捉える視点を復習します。システム内で生じている悪循環過程を変容していく具体的な変容手順と使用する技法について講義をします。そのうえで受講者は、視聴覚機器のある面接室で変容段階に分けて、推奨される技法のロールプレイを体験します。	
④ 家族面接の実践とまとめ	
最終日は、受講生の方が希望する（あるいは進行中の事例を参考に）模擬家族を設定し、講座で学習した内容を踏まえたロールプレイを行い、模擬家族システムの変容の実際を体験的に学びます。そして、面接過程で使用した技法、および生じた家族システムの変容を測定する方法について解説します。	
備 考	4回連続して受講されることを推奨しますが、どちらかのキャンパス日程のみの受講も可能です。再受講の方も歓迎いたします。

----- 切り取り線 -----

公開講座「家族支援の実践実技講座」申込書

名前（ふりがな）	
受講案内送付先	〒
電 話	() - 日中の連絡先：
E-mail	
所属先及び職種	
修了証交付	交付希望 ・ 不要